

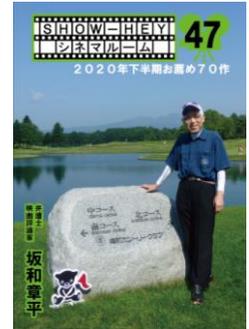
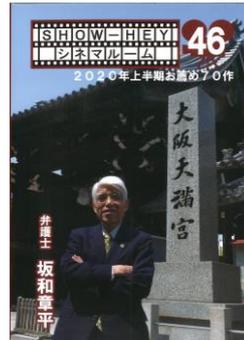


(2020(令和2)年11月25日撮影)
細谷優子 永田ひとみ
家永文佳 坂和章弁護士 高島望



『ナチス映画大全集』
(2020年5月出版)
(定価1,800円+消費税)
好評発売中!

『シネマ46』(2020年6月出版)
(定価1,800円+消費税)
好評発売中!



『シネマ47』(2020年12月出版)
(定価1,200円+消費税)
最新刊!

新年明けましておめでとうございます!

第1 新型コロナ騒動が勃発!第三波は?

1)トランプ大統領が“武漢ウイルス”と攻撃(口撃?)した中国発(?)の新型コロナウイルス騒動は瞬く間に全世界に広がり、1918~19年に全世界に大変な被害をもたらしたスペイン風邪に続くパンデミック(感染爆発)になった。西欧と米国での爆発的な広がりには比ぶると日本の感染者数と死者は二桁も違ったが、それでも大変。前代未聞の事態になった。政府は4/7に7都府県を対象に緊急事態宣言を“発出”し、4/16にはそれを全国に拡大した。その結果、入出国の制限はもちろん、国内での飛行機・列車・車での移動も、自宅からの外出も“自粛”が要請された。そして、小池百合子東京都知事が次々と繰り出した“オーバーシュート”“ロックダウン”“ステイホーム”“東京アラート”等のカタカナ語が誕生・定着するとともに、手洗いとうがい、マスク着用はもとより、“三密”防止対策が“新たな日常”となった。

2)コロナ禍による旅行・観光・宿泊・飲食業界の経済的損失は大きく、このまま騒動が続けばコロナによる死者よりも倒産・失業による死者の方が多くなるという危機感の中、“コロナ対策と経済活動の両立”という難しい選択を迫られた政府は、7/22から恐る恐る“Go To キャンペーン”を開始した。11月中旬の時点では、西欧でも米国でも“第三波”の広がりが現実化した。手洗い・うがいとマスク着用が確立し、キスやハグの習慣のない日本では大丈夫。“夜のまち関連”はなお要注意だが、映画館もプロ野球も大相撲も徐々にかつての日常に戻っていきそう。ワクチンが実用化され、治療法が確立できれば、それほど吹き荒れたコロナ騒動も鎮静化!そう楽観視していたが、日本でも年末年始に向けて第三波が襲来!トランプ大統領の1/20までの動きと共に、日々、注視する必要がある。

第2 米国大統領選挙をどう眺めよう?

1)11月3日に投票開票された米国大統領選挙は、初日こそトランプ(T)票が伸びたものの2日目以降はバイデン(B)票が伸びた。さらに、選挙人583名の過半数たる270人の獲得をめぐる最終盤の焦点となったペンシルベニア州とジョージア州に、南部ノースカロライナ州、西部ネバダ、アリゾナ州を加えた接戦5州では、郵便票の集計が進むにつれてB票が大きく伸びた。大阪都構想の住民投票が投票締め切り3時間後に確定したことと比べ、米国の投票作業の混迷ぶりをどう考えればいいのかは難問だが、その一因

が郵送投票にあることは明白。投票前からその違法性を主張していたTは、開票の曇り行きが不利になっていく中、次々と訴訟を提起した。2)しかし、米国東部時間7日午前(日本時間は8日未明)、ペンシルベニア州での勝利を決めたBが290人(50.68%)の選挙人を獲得し、当選確実と報じられた。史上最多の7500万票の票を得たBは、7日夜に「国民が声をあげ、明白な勝利を導いてくれた」と勝利宣言を行い、「国民を分断するのではなく、結束させる大統領になる」と決意表明した。他方、7100万票の票を得たTは、「この選挙はまだ終わりにほど遠い」と敗北を認めず、「正しい勝者が就任するように訴訟を遂行していく」と法廷闘争を続けているが、明確な証拠を示さない(示せない?)ままの法廷闘争は次々に敗訴している。

3)Bが第46代大統領に正式に就任するのは1月20日。それまでに何が起るか、なお予断を許さないが、既に全世界の世論はB大統領誕生を既定路線として走り始めている。Bはさっそく政権移行チームを発足させ、「私たちの仕事は新型コロナウイルスを制御することから始める。」と述べたが、国内外に抱える各種各様の政策課題は多難。さあ、Bの舵取りは如何に?そんな中、あくまで敗北宣言を拒否するTは政権移行手続に協力しないばかりか、「任期切れ」を前に、アフガンとイランの駐留米軍の削減を一方向的に発表する等の「駆け込み外交」を進めている。また、愛用の「ツイッター」だけでは不十分とし、新たにT用のマスメディアを発足させたり、敗北が確定すれば2024年の大統領選挙に再出馬する等の、あっと驚く新事も準備しているようだ。さらに、一方では激戦州での再集計請求や選挙不正の訴の強化を続け、最終的には連邦議会下院で大統領選を逆転するシナリオを描き、他方では、中国軍の影響下にある中国企業に対して米国人が株式の購入等を通して投資することを禁止する大統領令に署名する等、現職大統領としての権限を次々と行使し続けているからすごい。いやいや...

4)今回の選挙から、私たち日本人は良くも悪くも、建国以来続いてきた大統領選挙をめぐるアメリカ合衆国という国の“民主主義”の姿をしっかりと検証したい。

第3 中国は?「5中全会」後の方向は?

1)2012年11月の第18期党大会で中国共産党総書記に就任した習近平は、①薄熙来(ボ一・シーライ)、②周永康(チョウ・ヨンカン)、

③徐才厚(シュー・ツイホウ)らの“政敵”を次々と倒し、党内の権力闘争を勝ち抜く中で、自己を「第2の毛沢東」へと神格化させていく道を模索してきた。そのためクリアしなければならない壁が、国家主席の任期を「5年2期」とする制度。これは、毛沢東が指導した文化大革命の“弊害”を阻止できなかった教訓から、個人への過度の権力集中とその長期化を防止するための制度だ。毛沢東の失脚後、全く異質の改革開放政策を打ち出して成功させた鄧小平以降の中国は、江沢民、胡錦濤、習近平と指導者が交代する中で集団指導体制を守ってきた。国家主席の任期制も、米国大統領が4年2期、ロシア大統領が5年2期とされていることに習ったものだ。ところが今や、プーチン大統領は強引にその修正を実現させた。2)どの国の指導者でも2期目の就任と同時に焦点となるのが後継者選び。中国では、「チャイナセブン」と呼ばれる7名の政治局中央常務委員の中から有力候補者を抜擢し、実績を競わせたのがこれまでの通例だ。ところが、2015年に2期目の国家主席に就任した習近平はそうしなかったうえ、2035年には一人当たりの国内総生産(GDP)を「中等発展国家」のレベルに引き上げることを目指す他、米国と対等になることを目指す2050年という長期目標を設定したから、これがプーチンと同じように、任期制の修正・廃止を狙ったものと評価されたのは当然だ。

3)しかしして、10月に開催された第19期中央委員会第5回全体会議(5中全会)では、①来年からの経済計画「第14次5カ年計画」を議論、②2035年までの各分野の長期目標を策定、③温室効果ガス「ゼロ」実現への道筋を協議したが、本来そこで議論し、固められるはずの後継者人事には全く触れられていなかったから、そこに全世界が注目!習氏側近の陳敏爾(重慶市党委書記)や胡春華副首相(共産主義青年団出身)は、チャイナセブンの1ランク下の政治局員ですらないから、2022年の党大会でいきなりトップに就く可能性は低い。さあ、この論点をどう読み解けばいいのだろうか?

4)第14次5カ年計画は、①技術革新(イノベーション)を国の現代化の中核に置き、科学技術の自立を国家発展戦略の支えとする、②製造強国、品質強国、インターネット強国、デジタル強国の建設を目指す、③食糧安全保障を確保し、エネルギー革命を進め、食の現代化を加速させること、がその内容。ポイントは、貿易を軸とする「循環」と国内消費の拡大に軸を置く「循環」という「双循環(2つの循環)」の推進を掲げたこと。その

ココロは、トランプ大統領による米中貿易摩擦の激化と新型コロナウイルス騒動による世界貿易の悪化によって「外の循環」の縮小を余儀される中、新たな成長戦略として、国内需要の喚起＝「内の循環」を目指すものだ。そのためには、戦後の日本、昭和ニッポンが一億総中流化、個人消費の拡大によって経済全体のパイを広げたのと同じように、中国13億人民の消費需要を高める必要がある。

5) 2035年までの長期目標の設定は、もちろん習氏が最高指導者(核心)として権力を握り続けるための布石。日本では、安倍晋三政権が戦後の最長政権になったが、悠久3000年の歴史を持ち、「白髪三千丈」のたとえがピッタリの中国では、思考のレベルそのものが長期的。一年ごとに首相が交代した自民党政権時代や民主党政権時代は論外だし、にっくき(?)トランプだって最長8年、うまくいけば4年と見切ってきた感がある。また、長期政権なればこそ、中国共産党一党独裁国家なればこそ、個人の自由や人権を尊重する米国や西諸国と違って、突如発生した新型コロナウイルスの制圧も可能なのだ。「トランプよ、自国のコロナ対策の失敗をよく見てみろ!」と言わんばかりに習氏は今ほくそ笑みでいるはずだ。そんな勢いのかつて習氏は、①権力の集中を防止するため鄧小平が1982年に廃止した党主席制度の復活、②党副主席を1~3名置き、政治局常務委員会の定員を7名から3ないしは5名に減らす計画、を打ち出してきたからすごい。

6) 習氏は朝鮮戦争の開始(義勇軍を派遣)70周年を記念して、10/23に北京の人民大会堂で記念式典を開き、「党は毅然と米国と戦って北朝鮮を助け、偉大な勝利を勝ち取った」と強調。さらに、「抗米援朝」をテーマとした多くのテレビドラマや最新の映画『金剛川』(20年)は中朝の連携を強力にアピールしている。近時の読売新聞の川柳に、「習主席、この調子だと不老不死」(兵庫県・田村里美)とあったが、さて・・・?

第4 香港は?台湾は?

1)「香港は死んだ!」2020年7月1日付産経新聞は、香港国家安全維持法の施行を受けて、そんなショッキングな見出しを掲げた。さらに8月12日には、「香港のジャンヌ・ダルク」こと周屋(アグネス・チョウ)の逮捕を受けて、「戦争なき天安門事件だ」と断じた。その後も、民主活動家が次々と逮捕され、当局の手は香港の「蘋果日報(アップルデイリー)」の創業者・黎智英(ジミー・ライ)まで及んだ。こりや、まるで戦前の治安維持法による日本共産党とその支持者狩りと同じ姿だ。そんな事態の中、民主活動家が米国への亡命を狙うだけでなく、一般市民も英国やマカオそして台湾へと次々に移住している。

2)台湾では「本省人(台湾出身者)」として、初の総統になった李登輝が7月30日に97歳で死去した。日本統治時代に高等教育を受け、「22歳までは日本人だった」と語っていた彼は、卓越した政治手腕を発揮して、戦後の台湾を大改革した。その第1は、中国本土から台湾に逃げ込んだ蒋介石率いる国民党の支配(独裁)から、有権者の一票で国のリーダーを選ぶ民主的な総統の直接選挙を実現し、西欧流の民主主義を台湾に根付かせたこと。第2は、「自分は中国人ではなく、台湾人」という台湾人意識を広げたこと。この2つによって台湾は、中国本土からの激しい統一工作に屈せず、独自の立場を確立し続けている。

3)台湾は1996年以降、国民党と民進党の二大政党制の下で7度の総統選挙と3度の政権交代を経験してきた。これは、香港で約束されたはずの民主化が進まない中で大混乱に陥り、「一国二制度」がほぼ崩壊してしまっただけで対照的だ。

4)李登輝の功績は『李登輝秘録』(20年)に詳しく、彼の遺産と意志を引き継いだのは、2016年の選挙で総統に就任した蔡英文。一方では、香港から移住する市民が増大し、他方では米中対立が激化する中、習近平率いる中国共産党の悲願である台湾統一を目指す軍事行動も激化の一途を辿っている。台湾映画『軍中楽園』(14年)、『シネマ42』(237頁)で観たように、アモイ(廈門)から約2キロ先にある金門島は今でもアモイの観光名所になっているが、台湾から約280km離れている小豆島程度のこの島には、1958年8月から10月にかけて、大陸から40何万発もの砲弾が撃ち込まれ、砲撃は1970年代まで続いた。2001年1月以降、金門島と大陸との往来が可能となり、私がアモイ旅行に行った2009年時点では、アモイからの観光コー

スになっていたが、ここにまた砲弾が飛び交うのは、ひょっとして近未来?

5)そんな台湾は10月、軍の組織を再編し、2022年1月に防衛動員省を新設すると発表した。これはもちろん「台湾有事」に備える措置の一つだが、そうせざるを得ないのは、中国軍機の中間線越えが過去3年で最多になる等、台湾海峡に緊張が高まっているためだ。そんな事態の中、世界に次々と武器を売りつけているトランプ大統領の商魂に火が付いたのも当然。また、蔡英文も必要な武器を買うための金(予算)は、いくらでもOKとしたため、米国と台湾のその点での利害と気持ちは完全に一致している。「朝鮮有事」のリスクは一貫して続いているが、急速に高まっている台湾有事の可能性は?

第5 安倍政権から菅政権へ!総選挙は?

1)自民党から民主党への政権交代が実現したのは09年8/30の総選挙。しかし、鳩山由紀夫、菅直人、野田佳彦と、1年ごとの首相交代が続き、11年の3.11東日本大震災と福島第一原発事故対応の失敗等を含む未熟さを露呈した民主党政権は、12年12/16の総選挙で自民党に敗れ、同年9/26の自民党総裁選挙で総裁に復帰していた安倍晋三による第二次内閣が発足した。

2)06年9月に戦後最年少の52歳で第一次内閣を発足させながら、持病の潰瘍性大腸炎のため、07年9月に総辞職を余儀なくされた安倍総理は、その後の、総論の憲法改正論を封印し経済優先の姿勢を買った。そして①大胆な金融緩和、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略、という3本の矢からなる「アベノミクス」を推進した。その結果、円高が是正され、1万円前後だった日経平均株価も2万5000円近くまで上昇。アベノミクスは国民の強い支持を受けた。

3)09年の総選挙で大きな焦点になった、二大政党制とそれによる政権交代というテーマは、野党の混迷が続く中で次第に薄れ、安倍一強体制が進んでいった。国民の高い支持率を背景にしたとはいえ、消費税を14年4月には5%から8%に、19年10月には8%から10%に引き上げたのはお見事という他ない。さらに、安倍政権は15年9月には集団的自衛権の限定的な行使を可能とする「安全保障関連法」を成立させた。それから5年、新たに「敵基地攻撃能力」を含む「ミサイル阻止」についての議論を進めようとしていた矢先に持病が悪化した首相は、悲願だった憲法改正にも踏み込めないまま、8/28辞任の意向を表明し、7年8ヶ月の任期を終えた。

4)「ポスト安倍」は機を見るに敏な二階俊博幹事長がいち早く菅官房長官支持を打ち出したため、二階派に続いて麻生派、細田派、竹下派、石原派がこぞ菅支持に歩み寄った。その結果、対立候補の岸田文雄政調会長、石破茂元幹事長に圧勝し、第99代総理に就任した。

5)「支持率が高いうちに解散を!」「野党がまとまらないうちに解散を!」の声も強かったが、安倍総理のような2代目のサラブレッドとは正反対の、叩き上げ、無派閥、一匹狼をキャラとする新総理はそれに乗らず、派閥均衡内閣(?)を発足させた後、直ちにデジタル庁の発足、携帯料金の引き下げ等々の身近なテーマを掲げ、スピード感ある改革に着手した。それはそれではないが、「日本学術会議問題」が急浮上したのは大誤算。国会での答弁能力を含め、無用な野党攻撃にさらされてしまったが、年明け早々の解散説もなお有力だ。コロナ騒動はホントに収まるの?東京五輪はホントに開催できるの?そんな大テーマと並んで、衆議院の解散と総選挙は一体いつ?2021年は、新春からしっかりとそこに注目したい。

第6 大阪都構想、住民投票で再度の否決

1)大阪維新の会の執念によって実現させた大阪都構想の2度目の住民投票は、11/1の投票結果、約1万7千票の僅差で再び否決された。5年前に反対した公明党が一転して賛成に回ったから、今度は大丈夫。私はそう考えていたが、同党の支持者は半分しか賛成しなかったようだ。「身を切る改革」を実践してきた大阪維新の政治スタイルは好きだが、大阪都構想はなぜ必要なの?そんな疑問を持つ市民が多かったことが改めて実証された。

2)大阪都構想は道州制を含む「国と地方のあり方」を巡る大都市制度論の一つだが、「不幸せ(府市あわせ)」と揶揄されるほど二重行政の弊害が顕著だった大阪府市なればこそその大胆な提言だ。しかし、それはあくまで制度論だが、たまたま府市のトップを維新が握り府市協調路線が定着

すれば逆に不要と考えたり、少なくとも関心が薄くなったのはやむを得ない。そんな中、自民党と共産党が連呼した「大阪市を失くしていいの!」という、わかたようなわからないような情緒的な主張、(宣伝)が浸透したのは皮肉だ。3)「天下分け目の大いさ」の敗北を受けて、松井市長は任期満了をもって市長を降りると宣言。大阪維新の会の代表からその辞任も表明。11/21に実施された代表選挙で世代交代を進め、吉村洋文大阪府知事を新代表に選出されたが、彼の求心力と指導力は未知数だ。来年9月までに必ず実施される衆議院総選挙を含め、大阪維新にはいばらの道が続きそう。そんな中、急遽降ってわいたのが、かつて公明党が主張していた24区の区を8つに統合する総合区案。同案が2月の区議会に提案されれば、維新と公明の賛成多数で可決されること確定だが、さて・・・?

第7 将棋と囲碁

1)将棋界では、中学生でデビューした後、「公式戦29連勝」など数々の新記録を塗り替え、高校生で「棋聖」と「王位」のタイトル保持者になっていた天才・藤井聡太七段が、去る11/20、最年少の18歳4か月で公式戦通算700勝(40敗)を達成したのが大ニュース。順位はまだ七段で、順位制の所属もまだB級2組だが、九段への昇進とA級入りが間近なのはもとより、何歳で七冠王?他方、結着のついた永瀬拓矢VS久保利明の王将戦に続いて、現在豊島将之VS羽生善治の竜王戦が展開中だから、その行方に注目!2)囲碁界では、藤沢里菜女流三冠が11/22に第15回広島アルミ杯若駒戦で、孫誌七段を破って初優勝したのが大ニュース。若駒戦は、30歳以下で七段以下の棋士が参加する1手30秒の早碁の若手棋戦だが、男女競合の公式戦で女性棋士が初優勝したのははじめての快挙だ。他方、三冠同士の激突で11/14に井山裕太が芝野虎丸から奪取した名人戦に続いて、現在芝野虎丸VS許家元の王座戦が展開中だから、注目!3)両棋界とも、かつての羽生七冠や井山七冠の時代は終わり、群雄割拠状態が続いている。

第8 ゴルフ、相撲、野球

1)ゴルフ界では11月に延期されたマスターズで松山英樹が奮闘したが、13位止まりだったのは残念。低迷する男子ゴルフに対して、女子ゴルフは華やかさで大人気だが、2019年の全英オープンを制したシンデレラ・渋野日向子の低迷が痛い。彼女の力強い復活を待ちたいものだ。2)観客の声援が復活した大相撲11月場所では、大関・貴景勝の優勝と照ノ富士の準優勝で盛り上がった。ベテラン両横綱の休場は論外だし、朝乃山、正代の両若手大関の休場も残念だったが、初場所は、新横綱と復活大関の誕生に期待したい。3)プロ野球(セ)では、原辰徳監督の巨人の一人勝ち。ダメ虎のスタートからのダメ虎は例年のとおりで、矢野采配にも疑問点が目立った。

(バ)では弱小軍団(?)ロッテの健闘とソフトバンクの圧倒的強さが目立ったうえ、TV放映の頻度や人気面でも今や(セ)に迫っている。巨人の雷等?それともソフトバンクのV4?11/21に開幕した日本シリーズはそんな点で興味深いのが、ズバリ私の予想は、原監督の再度の屈辱と工藤廉康監督の再度の凱旋。大阪ドームでの連日の圧勝で、王さんと孫さんの高笑いも聞こえてきそうだが、最終決着は如何に?

第9 作曲家・簡美京平、さようなら!

1)阿久悠、平尾昌晃、服部克久に続いて、作曲家・簡美京平が2020年10/7に死去。いしだあゆみの『ブルー・ライト・ヨコハマ』、尾崎紀世彦の『また逢う日まで』、太田裕美の『木綿のハンカチーフ』等々、そのヒット曲はメチャ多い。彼のデビューは1966年で、『ブルー・ライト・ヨコハマ』の大ヒットは1968年だから、彼の大成は私たち団塊世代の青春時代に重なった。2)彼がすごいのは、80年代には近藤真彦、小泉今日子、少年隊等に楽曲を提供し、90年代も平成の時代もずっと活動し続け、生涯で3000曲近くも作曲し続けたこと。私が書いた映画評論も約3000本に上っているが、その人気度においてはケタ違いだ。簡美京平さようなら!長い間お疲れさまでした!

2021(令和3)年元旦(2020年11月23日記)
坂和総合法律事務所
所長 弁護士 坂和 章平

事務所の近況報告

第1 弁護士業務

7/1に坂和展弁護士が独立し、岡本仁志弁護士と共同で「法律事務所 桃李」を設立したが、必要な事件は従前どおり共同で行っている。コロナ騒動もあって、その数は減少しているが、他方、中国関連で新たな顧問契約締結に向けた興味深い展開もあるので、引き続き「本業」も頑張りたい。

第2 講義(5頁・写真⑬)

1) 大阪大学法学部で毎年1回実施しているロイヤリングの授業で、「まちづくりの法と政策」を11/12(木)に実施。「対面授業希望者は教室へ、その他はリモートで」という変則形式だったが、そのため逆に受講者は約130名に増えた。

2) 大阪都構想の住民投票(11/1)と米国の大統領選挙(11/3)というホットな話題も交えて、都市計画法を「母なる法」とするまちづくり法の体系や都市再生特別措置法の再三の改正、そして、都市法の3つの時代区分等について、久しぶりに熱弁をふるった。学生の感想文からも好評だったと確信できたので、次回も頑張りたい。

第3 出版関係(1) - 新日本法規の加除式本

1 『わかりやすい都市計画法の手引』

今回は、令和2年の「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」と第10次地方分権一括法における都市計画法の改正がテーマになった。まず、前者における都市計画法の改正では、8条の地域地区に「居住環境向上用途誘導地区」が新設された。後者では、19条の改正によって、市だけではなく、町村の都市計画の決定又は変更に係る都道府県知事への同意を要する協議についても、同意が廃止されるという改正がなされた。また、地区整備計画において、「現に存する農地で農業の利便の増進と調和した良好な居住環境を確保するため必要なものにおける土地の形質の変更その他の行為の制限に関する事項」が定められている地区計画の区域内の農地における、土地の形質の変更や建築物の建築等の行為について、条例で、市町村長の許可を受けなければならないこととすることができる、と規定する58条の3が新設された。これらは、追録45・46号として、1月に発行される予定だ。

2 『問答式 土地区画整理の法律実務』

コロナ騒動のため、恒例になっていた7月の名古屋での編集会議は中止になってしまったが、私は、次の3本の設問を執筆した。設問1「立体換地を活用した土地区画整理事業の事例」(大阪市の三国駅周辺地区、愛知県春日井市の勝川駅前地区、勝川駅南口周辺地区等の立体換地を活用した土地区画整理事業を紹介)、設問2「都市再生特別措置法等の令和2年改正とは」(近時の頻発・激甚化する自然災害に対応するとともに、まちなかにおける賑わいを創出するため、また安全で魅力的なまちづくりの推進を図るために、都市計画法や建築基準法等の改正にあわせて、令和2年に改正された、都市再生特別措置法の令和2年改正について解説したもの)、設問3「都市再生特別措置法等の令和2年改正における土地区画整理法の特例『防災住宅建設区』とは」(都市再生特別措置法等の令和2年改正で創設された土地区画整理法の特例である「防災住宅建設区」を解説したもの)。

さらに、その他補正27問の原稿を執筆・校閲し、11月には追録49～51号を発行することができた。

3 『Q&A 災害をめぐる法律と税務』

新設問20問、補正38問を執筆・校閲し、11月から12月にかけて追録56～59号が発行される予定だ。近時は、自然災害が頻発・激甚化しているため、令和2年の「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」においても、①災害ハザードエリアにおける新規立地の抑制、②災害ハザードエリアからの移転の促進、③居住エリアの安全確保、など「安全なまちづくり」が大きなテーマの一つとされており、災害関連のネタは広がる一方。新聞や雑誌等においても、災害関連の記事がたくさん掲載されているため、今後も新設問や補正原稿の執筆は年々増加していくことになりそうだ。さらに今回の補正では、借地・借家に関する設問で、平成29年の民法大改正や平成30年の民法(相続法)改正などに関連し

た補正もたくさんあった。引き続き、同書の執筆を強化していきたい。

第4 出版関係(2) - 『シネマ47』を出版(12月)

コロナ騒動のため4月には映画館も休業となり、シネマ本の出版も危ぶまれたが、6月からは「三密」を避けて再開。10月からは満席で再開した。再開後は話題作も多く、4/1～10/31までの7か月分を、『シネマ47 2020年下半期お薦め70作』として出版することができた。

第5 坂和奨学金

1) 中国からの留学生との交流が強まりかつ深まるにつれて、それまでごく一部の人に実施していた坂和奨学金を拡大し、7/10には「坂和章平奨学金要綱」を制定した。史林麗(シリリンリー)さんの友人で、広東省の法律事務所から20年4月に早稲田大学大学院に留学する予定だったA君への実施はコロナ騒動のため延期したが、10月から長野県のインターナショナルスクール(高校)に入学するW子さんを、その第1号として実施した。

2) さらに、東京の劉茜懿(リウ・チェンイー)さんのいところで、20年3月に東京芸大を卒業し、カメラマンの仕事を探していたT子さんを第2号として実施した。

3) 2019年8月に楊陽(ヤンヤン)の音頭取りで坂和事務所2階大会議室で実施した安徽省師範大学の日本校友会で公表した同大学への坂和奨学金の構想も、コロナ騒動のため中断した。それはやむを得ないが、日中の往来が可能となれば、楊陽と共に同大学を訪問し、公式に発足させたい。

第6 中国関連

1 HSK3級合格(4頁・写真①)

1) 私は2011年12月に中国語検定の4級と3級に合格した。これは、日本中国語検定協会が実施している権威ある検定試験。その後、更に1つ上の2級を目指していたが、それは難関。リスニングの難しさはもちろん、文法のひっかけ問題(?)も相当なものだ。それに対して、HSK(中国語能力検定“漢語水平考試”(Hanyu Shuiping Kaoshi))は、中国政府教育部(日本の文部科学省に相当)が認定する世界共通の中国語の語学検定試験だ。それを知り、すぐにHSK3級の公認テキストと問題集を購入して勉強したが、そこでわかったのが、HSKの方が実用的なこと。「会社での語学力のアピールや転職・就職活動にも断然有利!」とされている。

2) そこで私は、7/12(日)にHSK3級を受験。听力83点、阅读100点、书写87点、総得点270点で合格!60%以上の得点で合格のところ、90%だから、ハッキリ言って3級はチヨロかった。

3) この勢いで、次は一気に4級に挑戦!そう考えて4級のテキストを購入し頑張っていたが、6月からは映画館が再開。話題作が次々と公開されたため、映画評論家活動が忙しくなってきた。コロナ騒動の中で楽しみだった囲碁のネット対局も我慢して何とか『シネマ47』を完成させたが、そのあおりが受験勉強に及び(?)、年内の4級の実験は断念することに。阅读は十分合格ラインだが、听力がやっぱり難しい。7歳を迎える今年は「4級合格!」と自慢したいが、さて?

2 日中ビジネス連絡会開催(8/12)(4頁・写真④)

坂和の中国人脈が広がり、かつ若い人たちの各分野での活躍が広がる中、「SAKAWA人脈・日中ビジネス連絡会」を坂和総合法律事務所2階の大会議室で開催した。三密を避けるべく、距離をあけて、弁当を食べながら自己紹介と今後の活動計画を中心に話し合った。会議終了後もグループ毎に名刺やチャットの交換をし、具体的な打ち合わせが続いた。最後に、会長を坂和章平、幹事を史林麗としたうえ、連絡網の活用、有意義な情報交換を進めていくことを確認した。

3 大阪中国語学院創立50周年・日中語学専門学院創立30周年の記念式典(9/18)(4頁・写真⑤)

9/18(金)に「記念式典」と「落語を聴く会」が天満天神繁昌亭で開催され、桂雀喜さん名物の中国語落語や天翔楽団による中国伝統楽器演奏等を楽しませてもらった。コロナ騒動下で日中友好関係は厳しいが、学院の今後のさらなる発展を期待したい。

孔子学院总部
Confucius Institute Headquarters

汉语水平考试 Chinese Proficiency Test

HSK (三级) 成绩报告 HSK (Level 3) Examination Score Report

姓名: 坂和 章平
Name: _____

性别: 男 国籍: 日本
Gender: Male Nationality: Japan

考试时间: 2020 年 07 月 12 日
Examination Date: _____ Year _____ Month _____ Day

编号: H32007016825
No. _____

准考证号: H32008828022730025
Admission Ticket Number _____

	满分 Full Score	你的分数 Your Score
听力 Listening	100	83
阅读 Reading	100	100
书写 Writing	100	87
总分 Total Score	300	270

听力 Listening	阅读 Reading	书写 Writing	总分 Total Score	百分等级 Percentile Rank
100		100	299	99%
98	100	96	287	90%
95	97	91	277	80%
92	93	87	267	70%
88	89	83	256	60%
85	82	78	243	50%
80	73	73	227	40%
75	64	68	209	30%
69	53	60	187	20%
59	40	51	159	10%

总分180分为合格 (Passing Score: 180)




中国 · 北京
Beijing · China

【写真①】 7/12 HSK 3級成績報告



【写真②】 6/29 食事会



【写真③】 9/17 食事会



【写真⑥】 9/27・28 苦小牧でゴルフ



【写真④】 8/12 日中ビジネス連絡会



【写真⑤】 9/18

大阪中国語学院創立 50 周年
日中語学専門学院創立 30 周年
記念式典

天満天神繁昌亭

大阪中国語学院創立50周年
日中語学専門学院創立30周年
記念式典「落語を聴く会」

令和2年 [9月18日 金曜日 10:00~12:00]
9:00 受付 09:30 開場



【写真⑦】
10/9 オービックの新ビル



【写真⑧】10/29 愛光囲碁会



【写真⑩】10/31 坂和サミット（三都サミット）



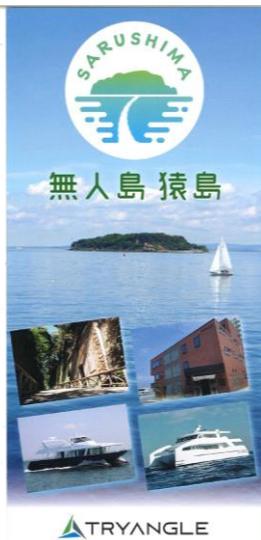
【写真⑨】11/17 愛光囲碁会



【写真⑪】
11/3 第33回東京国際映画祭



【写真⑬】11/12 阪大ロイヤリング



【写真⑫】
11/4 猿島観光、横須賀軍港めぐり



時には三密を避けた食事会も (6/29、9/17) (4頁・写真②③)

1) コロナ第一波が日本列島を襲った4月、5月はさすがに“自粛”を貫いたが、その後は、時には三密を避けた食事会も！4回生の時に映画評論のパソコン打ちのバイトをしてくれた、北海道出身で神戸国際外国語大学中国語学科を卒業した伊藤日実子さんが昨年4月大阪で就職し、中国関連の仕事で働き始めたのは喜ばしいかぎり。

2) そのお陰でその時々情報交換ができるし、彼女の紹介で1年後輩の優秀なバイト要員・高島望さんも確保できた。さらに2020年10月からはその後輩も確保できている。そんなお礼も兼ねて、6/29には伊藤さんと高島さんの2人と、9/17には別の4人で会食。その際、お土産にももらったのが、今年フィーバーした『半沢直樹』シリーズから生まれた「100倍返し饅頭」だ。伊藤さんには今後何らかの形で100倍返しのお礼をしなければ・・・。

苦小牧でゴルフ (9/27・28) (4頁・写真⑥)

毎年5月に監査役として出席している苦小牧の顧問会社の株主総会も今年はコロナ騒動のため延期。それと同時に、5月と7月のゴルフも延期になった。しかし、「Go To トラベル」も始まった9/27(日)に、やっと、お昼はゴルフ(千歳GC)を、夕方からは株主総会を実施することができた。さらに、翌28日は北海道GCでゴルフを。両日とも快晴下で、連チャンのゴルフを楽しむことができた。さらにプレイ中に登場したキツネと戯れたり、おいしい料理を楽しんだり、久しぶりに充実した2泊3日になった。今年のゴルフはこれっきり。来年は、また5月末頃に。

オービックの役員会を新ビルで開催 (10/9) (5頁・写真⑦)

10/9(金)、監査役を務めている(株)オービックの「オービック御堂筋ビル」が完成したことを記念して、10月の役員会と経営戦略会議が同ビルで開催された。ビルの威容にも、大阪本社フロアの充実ぶりにも、また役員室の豪華さにもビックリ！会社の隆盛はもとより、大阪都構想は否決されたものの、新たな大阪圏の発展に期待。身近なテーマでは、特に御堂筋の全面歩道化構想の実現に期待したい。

愛光9期囲碁会・飲み会 (10/29、11/17) (5頁・写真⑧⑨)

1) 毎月の行事として定着していた囲碁会も7月～9月は中止したが、10月からは再開。懇親会はなお全面中止だが、11/17に続いて、12/15には囲碁会と忘年会を、三密を避けて、坂和事務所の大会議室で開催予定。11月中旬以降の「第三波」の広がりは心配だが・・・。

2) 逆に、コロナ下の5～9月では皆見一夫弁護士との「幽玄の間」でのネット対局に熱中した。実力伯仲だから実に面白く、2時間以上かけて一局に集中すれば、疲れがドツと。映画館の再開と共に対局が減少しているのは残念！

坂和サミット(三都サミット)を開催 (10/31) (5頁・写真⑩)

1) コロナ騒動のため延期していた、第3回坂和サミット(三都サミット)を、10月31日(土)、坂和総合法律事務所2階の大会議室で開催した。三密を避け、ソーシャルディスタンスを保つため、弁当とビールで10名の出席者が11時半から4時まで熱い討議を繰り広げた。参加者は、坂和章平、中島崇夫さん、部田哲雄さん、見本重宏さん、四宮陽一さん、

山本隆敏さん、史林麗さん、古婷婷さん、伊藤日実子さん、細谷優子さんの10名だ。

2) テーマは、①大阪都構想、②アメリカ大統領選挙、③外国人の土地取得、等の他、④見本重宏さんから『翼よ、よみがえれ！』の紹介、⑤山本隆敏さんから「速読法」の研究成果の発表、等も提供された。3時頃以降は「三密」もそっちのけ状態の中、フリートキング形式により一層濃密な議論になった。個性的なメンバーの自由な問題提起が、相互に良好な化学反応を起こすサマが興味深い。次回は、2021年5月末の予定。皆さんお楽しみに。

第33回東京国際映画祭(11/3) (5頁・写真⑪)

1) 私も出資者の一員となった藤元明緒監督の『僕の帰る場所』は、東京国際映画祭「アジア未来部門」でグランプリと監督賞を受賞するなど大きな反響を呼び、収支の採算がとれた。そこで、全額返還されることになった出資金を、そのまま、次回作『フォンの選択』に振り替えることに。その新作が、邦題を『海辺の彼女たち』に変えて完成し、スペインの第68回サン・セバスチャン国際映画祭新人監督部門でプレミアム上映を行った後、2020年11/3の第33回東京国際映画祭で上映された。その立派な出来に感服。藤元監督らが出席した質疑応答も充実したものに。

2) ベトナムから日本にやってきた技能実習生は、お金を貯めて凱旋帰国した人も多いが、当初の条件と異なる劣悪な職場に苦しむ人も多い。ベトナム人ブローカーの紹介で、そんな職場を脱走し、雪の深い青森県で漁師の手伝い仕事に従事した3人の若いベトナム人女性は、いかなる試練を？「過度に強調することも教訓めいたものにすることもなく、他の映画が見過ごしてしまうような登場人物の内なる孤独やおそれに光を当てることに成功している美しくも痛切な映画」と高く評価された同作が、多くの劇場で公開されることを期待！その際には、皆様もぜひご鑑賞を！

猿島観光、横須賀軍港めぐり (11/4) (5頁・写真⑫)

1) 11/4(水)、山田将治氏の車で、横須賀の記念艦「三笠」から船で15分の海上にある、東京湾唯一の自然島「猿島」の観光へ。明治初期に砲台が設置された猿島は「史跡の島」とも呼ばれる人気の観光地。ガイドの案内による約1時間の島めぐりは興味深かった。

2) 2時から横須賀軍港めぐりへ。快晴の下、日米のイージス艦や多種多様な艦船、そして、お目当ての潜水艦も見学し、写真をパチリ、パチリ。中国なら即逮捕だが、日本なら何でもありのOKだ。充実した1日を過ごせたことに感謝！

健康問題—大腸がんと胃がんの手術、その後

1) 2015年9月の大腸がん手術、2016年11月の胃がん手術はいずれも初期だったため、基本的に切除すれば終わり。しかし、転移すれば抗がん剤の投与等が必要になるため、その後も定期的に検査を受けながら5年を無事に経過することができた。この貴重な経験でわかったのが、内視鏡検査の重要性。胃や大腸などの管の中は外からのレントゲンではわからないが、内視鏡を通せば、その内部を画面上でくつきりと診ることができる。

2) 1年に一度これを受け、もし小さなポリープを発見すれば、その都度内視鏡で除去すれば安心できる。“後悔先に立たず！”とはまさにこのことだが、それを痛感しながら、昨年も今年も受診した内視鏡検査は無事にパス。1年前から食事は基本的に夕食1回だけにしているが、これが今の私にはベスト。体重も安定し、色ツヤも良好だ。2021年1月に72歳で6回目の年男を迎えた後も、引き続き毎年内視鏡検査を続けながら、“一病息災”の精神で残りの人生を楽しみたい。

＜こりゃ必見！黒沢清監督の『スパイの妻』＞

- 1) 2020年2月の第92回アカデミー賞では、ポン・ジュノ監督の『パラサイト 半地下の家族』が韓国初の作品賞をゲットした。これは、トランプ大統領が「一体どうなってるんだ？」と支援者を前に不満を露わにするほどの衝撃だったが、人種や性別の多様化が大きく進んだ今、素晴らしい作品はどの国の作品でも素晴らしいといえる時代になってきたらしい。
- 2) 西欧諸国は米国とは違って(?)人種や性別にこだわらず、作品の質そのものに目を向けるから、クソ難しい映画が大好き。そのため、カンヌ・ベネチア・ベルリンという三大国際映画祭での受賞作は難解なものが多い。しかし、2019年5月の第72回カンヌ国際映画祭で『パラサイト 半地下の家族』が最高賞＝パルムドール賞を受賞したのに続いて、2020年9月の第77回ベネチア国際映画祭では、黒沢清監督の『スパイの妻』が銀獅子賞(監督賞)を受賞した。北野武監督の『座頭市』(03年)以来、日本人17年ぶりの快挙に拍手！3) 時代は日米開戦の不穏な空気が漂う1940年。神戸で貿易商を営む夫・優作(高橋一生)は平気で外国人商人との取引で儲けていたが、この英国人はスパイでは？無邪気に夫を信じる妻・聡子(蒼井優)も、時代に不釣り合いな洋装でお気軽な毎日を。しかし、大陸をこの目で見ておきたいと言って満州に出張した優作が女連れのみならず、細菌兵器の研究に伴う人体図が載ったノートやそれを撮影した8ミリフィルムを持ち帰ってくる。
- 4) 今は憲兵隊長に出世している聡子の幼馴染からの忠告や、満州女の死亡、さらにノートを英訳した優作のいとこの逮捕・自供等にもかかわらず、夫は妻に米国への亡命を告げたからすごい。さらに、聡子は「あなたがスパイなら、私は喜んでスパイの妻になります。」と宣言。以降、二人三脚での米国亡命計画が実行されていくことに。
- 5) 1945年8月15日、日本敗戦。その時、精神病院に収容されていた聡子は「私は狂ってなんかいません。でも、狂っていないことが狂っているんでしょうね、この国では。」と語るが、あなたはこのセリフをどう受け止める？他方、あの時、敢えて聡子と別行動での米国密航を企てた優作の生死は？また、戦後の聡子の米国行きは？こりゃ必見！

＜中国映画『薬の神じゃない！(我不是薬神)』に大拍手！＞

- 1) アジア最大のヒット作は2017年に1,000億円の興行収入を挙げた中国映画『戦狼2(ウルフ・オブ・ウォー2)』。アフリカの某国で起きた内戦で中国人民解放軍の退役軍人が中国版ランボーとして大活躍する同作は、一帯一路戦略にピッタリ符合したこともあって、習近平国家首席も大喜び。ラストに中国のパスポートが大写になると、観客はこぞって立ち上がって大拍手。そうなるのも当然だ。
- 2) 2020年10月の「五中全会」で長期政権を見据えた独裁色を一層強めた習近平国家主席(総書記)は、朝鮮戦争への参戦70周年の記念式典で、「帝国主義の侵略者は勝利した」、「正義は必ず強権に勝つことを証明した」とアピールした。習政権は、米国が大統領選挙にうつつを抜かしている(?)間も、しっかり70年前の、「抗米援朝」のスローガンを大宣伝し、朝鮮戦争をテーマにしたTVドラマをたくさん作っていたが、直近では『戦狼2』の主演男優・呉京(ウー・ジン)を起用した『金剛川』が公開され、大ヒット！さあ、中国人民解放軍は70年前、朝鮮半島でいかなる活躍を！？そして、『戦狼2』に続く2匹目のどじょうは？
- 3) 他方、2018年の中国で500億円の興行収入を挙げるとともに、政府による抗がん剤価格の引き下げ等の措置を促す、異例の問題提起作になったのが本作だ。インド製の安価な白血病の薬を密輸し、密売していた男が逮捕されたという、2014年に実際に起きたニセ

薬事件をモデルにした同作は、前半はコメディ風だが、後半はしっかりした問題提起作となり、涙する観客も多数。それは、当初は金儲けのために始めた密輸・密売が、実は高価な薬を買いつけなければならない多くの患者を救う事業だと知った主人公が、その後、儲けを無視し、いつ逮捕されるかもしれない危険を冒してまで、安価な薬の密売に邁進する姿が、中国13億人の心を打ったためだ。日本と違って、表現の自由への規制が強く、映画界でも検閲が厳しい中国では、賈樟柯(ジャ・ジャンクー)、婁燁(ロウ・イエ)、張揚(チャン・ヤン)らのいわゆる第6世代監督はそれぞれ、苦労しながら映画製作を続けている。

4) そのため、本作の公開も危ぶまれたが、中国共産党内で序列2位にある李克強首相が、本作が大きな社会的議論を引き起こしたことを受けて、抗がん剤の薬価引き下げの措置の早期実施を関係当局に指示したそうだからすごい。ちなみに、実際の事件では、嘆願書の提出によって被告人は無罪放免とされたそうだが、さて映画の中では？

＜鬼滅フィーバーをどう考える？＞

- 1) 私はアニメはあまり見ないから、『鬼滅の刃』なるヒット作の存在も知らなかったが、10/17(土)のTOHOシネマズ西宮OSのホールは、それを観ようとする家族連れでいっぱい。空前のスクリーン数で公開されることもあって、2月から続いたコロナ騒動下では見たことのない風景だ。売店も行列で『スパイの妻』のパンフ購入も諦めざるを得ないことに。『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』は、最初の3日間(16~18日)の興行収入が4.6億円、11月8日までで20.4億円、観客動員数1,537万人を突破し、公開24日間で国内興行収入歴代5位になったそうだ。
- 2) このアニメの魅力は一体ナニ？その物語は？私はそれを一切知らないし、興味もない。テレビでは、アニメ版『鬼滅の刃』が10月23日から関西テレビの地上波ゴールデン帯でレギュラー放送されたし、アニソングル女王LiSAは「オリコン週間音楽ランキング1位獲得数史上最多7冠」の快挙を達成したそうだが、私はそれにも興味なし。「鬼滅フィーバー」が悪いとは言わないが、日本の邦画界はホントにこれでもいいの？
- 3) そう思っていたが、ある偶然から、11/14にこれを鑑賞！走り続ける「無限列車」は、ポン・ジュノ監督の「近未来モノ」の傑作『スノーピアサー』(13年)(『シネマ32』234頁)を彷彿させる世界観だが、その理解は難しい。また、そのテーマはおとぎ話の「桃太郎」と同じ「鬼退治」だが、本作の主人公は「鬼殺隊」の剣士だから、かなり物騒。鬼の方も「下弦の壱」をはじめ強力だ。さらに、私が子供の時に熱中した『赤胴鈴之助』の剣捌きは愛嬌があった(?)が、本作のそれはアニメというより『子連れ狼』ばりの劇画タッチだから迫力満点。そこに「炎の呼吸」等のアイデアが加わると、スクリーン上はものすごいことに。
- 4) 満席の劇場は半分が子供だが、そんな子供たちに本作の世界観がどこまで理解できるの？また、それより前に、こんなえぐい物語と映像を子供たちに見せていいの？宮本武蔵と佐々木小次郎の「巖流島の決闘」は一瞬でケリがついたが、本作ラストでは、強力な血鬼術で夢を操る鬼・魇夢(下弦の壱)に勝利した、鬼殺隊最強の剣士で炎柱たる煉獄杏樹郎が、新たに登場したより強力な鬼である猗窩座(上弦の参)と、劣勢を承知で戦う姿が描かれる。その展開と結末がどうなるかはあなた自身の目でしっかり確認してもらいたい、この結末と「無限列車編」の大ヒットを見れば、邦画界が2匹目のどじょうを狙うのは確実。もし、夏の東京五輪が中止になれば、日本の話題が再度『劇場版 鬼滅の刃』のパート2に集中するかも……？

2020年11月19日記



◆ 業務時間 ◆

平日 午前9時～午後6時
土曜日 午前9時～午後3時
(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

- * 相談に来られる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。
- * また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにていただければ幸いです。
- * お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー)を参照して下さい。

事務所のホームページ
<https://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/office#ttl-acc>
から印刷して下さい。お電話をいただきましたらFAXします。

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



(96年5月) (01年6月) (03年9月) (04年11月) (05年4月) (07年7月) (08年4月) (15年11月) (17年6月)

<実況中継シリーズ全4冊>



(03年7月) (12年4月) (00年7月) (02年9月) (04年6月) (06年9月)

<その他の著書>



(04年5月) (05年10月)

<コラム集>



(05年8月) (13年12月) (19年4月)

<名作映画シリーズ>



(10年3月) (10年12月) (19年3月)

<中国語の著書>



(09年8月) (12年8月)

<『シネマルーム』シリーズ全47巻>



(16年7月) (16年12月) (17年7月) (17年12月) (18年7月) (18年12月) (19年7月) (19年10月) (19年12月)
 (12年7月) (12年12月) (13年7月) (13年12月) (14年7月) (14年12月) (14年7月) (15年7月) (15年12月)
 (08年10月) (09年2月) (09年5月) (09年8月) (09年12月) (10年7月) (10年12月) (11年7月) (11年12月)
 (06年11月) (07年2月) (07年6月) (07年10月) (07年10月) (08年2月) (08年5月) (08年6月) (08年9月)
 (02年6月) (03年8月) (04年4月) (04年11月) (04年12月) (05年5月) (05年10月) (06年2月) (06年7月)